

将来対応システム

特許出願中

【コメント】：弊社では、システムの陳腐化を防ぎ稼働率を高めるため、今後も時代のニーズに応じた様々な対応を予定しています。

①カードリーダー(ライター)

(キャッシュカードを読み取る)

銀行キャッシュカード、運転免許証等本人が特定できるカード媒体を読み取り、本人確認を実施します。例えば金融機関であれば、当行限定あるいは、BANCSカードも利用可能とする等、適用範囲の設定が可能です。あくまでカード固体の属性に基づくものあり、ホストサーバーへの照会は行いません。

②カード発行機(ライター)

(任意のカードを発行する)

交通系電子マネー、デビットカード、プリペイ・クレジットカード等無記名の非接触ICカードで、3000円、5000円、10000円等予め金額の決まったプリペイカードを発行します。

外貨及び円貨のいずれにも対応が可能です。釣り銭はいずれも円貨で払い出します。

③カードへのチャージ

(FeliCaにデータをチャージ)

例えば、交通系電子マネーやデビットカード等電子マネー機能をもつ非接触ICカード(FeliCa)について、外貨であれば両替後の円貨額をチャージすることが可能です。

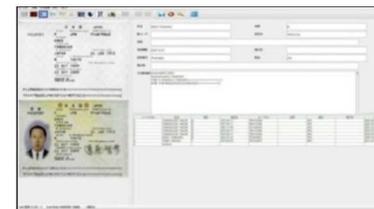
ただしチャージについては、発行カード会社とのシステムの打ち合わせが必要です。

④円貨→円貨両替アプリ



タッチパネルで「円貨両替アプリ」を選択します。外貨両替を自動化しても、くずし両替ホテルフロントや商業施設免税カウンターで頻発しています。万円→千円×10枚、千円→100×10枚両替が可能です。

⑤パスポートの確認と記録



パスポートスキャナーを内蔵し、非居住者の外貨両替でパスポートを読み取り記録します。名前や国籍等のデータ及び写真部分は画像として記録します。運用面では後日の検索も可能です。

⑥館内情報表示



希望のQRコードをスマホでキャチャ



QR1=ショッピング系
QR2=レストラン系
QR3=天気・交通
QR4=イベント系
※etc

デジタルサイネージ



⑦Bitcoin対応

Bitcoinを円貨に両替する機能です。取引所のサーバーと端末(両替機)としての通信プロトコルを確立する必要があります。



タッチパネル